

鎌倉街道と十貫坂

原田 弘

今、和野のブリス記念病院の前を中野の方へ行く道があり、かつてバスも走っていた道路で、この道は昔の鎌倉街道の一部といわれる古道です。大宮八幡宮南面の馬居の前から大宮小学校、堀ノ内熊野神社の廻を通って和野地区を縦断して中野に入ります。この中野境の坂道をこれからお話しする「十貫坂」といいます。又、中野通りに京王バスが走っている坂道も同じ名称で呼ばれていますので間違いないですけど、この方は新しく開けた道路です。



新道 十貫坂

古道を示すように和野一丁目坂の上り口左側には多くの石仏群がお堂の中に保存されています。地蔵尊・庚申塔などですが一番古いものは今から三〇〇年以上も前の皮摩塔もあ

り、地域の人々の信仰の対象となっていたのでしよう。また古い地図を見ますとこの辺は砂利田と呼ばれていたようで、能楽堂の南側蒲鍋寺川沿いまで昔から水宮があったのでしよう。



十貫坂 地高堂

さてこの十貫坂の名はどこから来たのでしょうか。ちよつと調べて見ますと、江戸時代八王子の千人隊同心であった柏田五郎(もうしん)という人が一武蔵名勝園会という書を著しており、その中の一説に次の様に記載されています。「十貫坂、和野村と雑色村の間の小坂なり。七八十年前、村民道脇の吊畔より壺に入りたる古銭十貫文を掘り出す。それより坂の名とす。成説云、十貫坂の銭は、俗に云う中野長者が埋めたところの銭なるべし」と云う。土人云先年成願寺(現在の中野二丁目二十六、曹洞宗多宝山成願寺で中野

坂上の密 境内より津張を掘り出せしことあり」云々とあります。また「新編江戸志」によりますと、この坂にのぼった中野長者が目の及ぶかぎりの地を永禄十貫文をもって買い取ったので名付けられたとも云われています。

しかしこんな説もあります。昔合戦があった時、この丘の上から数の陣地を見たので陣雨(じんかん)坂といわれ、これが十貫坂に変わったのではなからうか。しかし今一般的にはこの辺の地から十貫文を掘り出したとの説が定着しているようです。なお杉並区内には多くの坂がありますがどれも名が付けられているのは少ない様です。その点、新宿・港などの区内には急な坂が多いせいか、三分坂、四角坂、碓氷坂、一口坂など面白い異味をそそる名の坂が沢山あります。



古道 十貫坂

原田 弘氏

杉並郷土史学会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ベンクラブ会員

メイクアップ講座

プロが教えるメイクアップ講座です。基本さえ分かればワンランク上の貴女を見つけるのは簡単です。メイクの技術をもう一度見直してみませんか。

5月19日・26日、6月9日・16日 (土曜日)午前10時~12時

講師/君島友恵氏

対象/区内在住・在勤・在学の方

定員/20名(応募多数の場合抽選)★参加費無料

セシオン杉並

3階 6・7集会所

しかし区内の坂でも、その地区内の人々だけが呼んでいる坂の名があるかも知れません。調べてみるのも大変郷土の歴史の勉強になります。最後にごここに書いた鎌倉街道というのにも昔に高井戸の鎌倉橋や成宗などにも古い伝えがありますので、いちがいに断定はできません。史研究の面白味かもしれません。

○申込・問い合わせは高円寺地域区民センターへ★締切5月7日(月曜日)